

PG4UWMC – マルチ・プログラミング・コントロール・パネル

Pg4uwMC プログラム は同じコンピュータに USB ポートで接続された BeeProg/Beeprog+ x 8 台まで、又は、BeeHive4+ を 2 台接続して同時に併用することが出来ます。

Pg4uwMC は大量の生産のための操作を簡単にモニターすることが目的です。Pg4uwMC のフレンドリー・ユーザー・インターフェースは多くの強力な機能を使い易く結合されていますので、全ての重要な動きとプログラミング結果の概要を提供しますので、詳細に注意を払う必要がありません。

Pg4uwMC はマルチ・プログラミング・システムを制御するためにプロジェクト・ファイルを使用します。プロジェクト・ファイルにはユーザー・データ、チップ・プログラミング・セットアップ情報、チップの設定データ、自動プログラミング・コマンド・シーケンス等を含んでいます。プロジェクト・ファイルは通常は技術者によって作成され、それがオペレータに渡されますので、従って、操作エラーを最小化することが出来ます。

オプションのプロテクト・モードはプロジェクト・ファイルが不用意に変更されることを防ぐためにセットすることが出来ます。各チップはシリアル番号、設定と校正情報の様な異なったデータをプログラムすることが出来ます。

Pg4uwMC ソフトウェアの使用

Pg4uwMC プログラムは下記のメイン・ウィンドウで構成されます。:

1. メイン・ウィンドウ
2. セッティング・ダイアログ・ウィンドウ
3. "プログラマー検索"ダイアログ・ウィンドウ

Site	Status	Serialization
#1	—	
#2	—	
#3	—	
#4	—	
#5	—	
#6	—	
#7	—	
#8	—	

8 サイト使用時のサンプル画面

Pg4uwMC v2.64/11.2009 - Multiprogramming Control Panel

BeeHive4+ multiprogramming system

#1 BeeHive4+ (s/n: 536-00748) #2 BeeHive4+ (s/n: 536-00724)

Site #1 Site #2 Site #3 Site #4 Site #5 Site #6 Site #7 Site #8

ACTIVE ACTIVE ACTIVE ACTIVE ACTIVE ACTIVE ACTIVE ACTIVE

Ch: 001F7F15h Ch: 001F7F15h

Status window

Site	Status
#1	Ready
#2	Ready
#3	Ready
#4	Ready
#5	Ready
#6	Ready
#7	Ready
#8	Ready

Pg4uwMC Settings - read-only mode (*)

Multiprogramming Log file Job Report Sounds

BeeHive4+ multiprogramming system

Sites	Serial number	Project file	Device in project file
<input checked="" type="checkbox"/> Site #1	534-03513	E:\ELNEC\DATA\test5.eprj	Cypress CY8CTMG200 (ISP)
<input checked="" type="checkbox"/> Site #2	534-03514		Cypress CY8CTMG200 (ISP)
<input checked="" type="checkbox"/> Site #3	534-03515		Cypress CY8CTMG200 (ISP)
<input checked="" type="checkbox"/> Site #4	534-03516		Cypress CY8CTMG200 (ISP)
<input checked="" type="checkbox"/> Site #5	534-03417		Cypress CY8CTMG200 (ISP)
<input checked="" type="checkbox"/> Site #6	534-03418		Cypress CY8CTMG200 (ISP)
<input checked="" type="checkbox"/> Site #7	534-03419		Cypress CY8CTMG200 (ISP)
<input checked="" type="checkbox"/> Site #8	534-03420		Cypress CY8CTMG200 (ISP)

Use Site #1 project for all Sites

Timer refresh rate: 200ms Defaults

(*) Some settings may be unavailable to edit, while any Programmer Site is connected.

OK Cancel Help

Run Program Stop ALL

Device: Cypress CY8CTMG200 (ISP) Project file: E:\ELNEC\DATA\test5.eprj

Statistics: Success: 0, Failure: 0, Total: 0

Count down: Status: Disabled, Remains: 396 of 400

Checksum: 001F7F15h x8

Next serial value: .E.μ

"Use Site #1 project for all Sites" にチェックを入れますと、4、又は、8 サイトに Site#1 のプロジェクト・ファイルが反映されます。

Pg4uwMC Settings

Multiprogramming Log file Job Report Sounds

multiprogramming system

Sites	Serial number	Project file	Device in project file
<input checked="" type="checkbox"/> Site #1	534-00001	C:\Intel_TE28F256P33T.eprj	Intel TE28F256P33T [T5OP56]
<input checked="" type="checkbox"/> Site #2	534-00002	C:\CY7C63723_v248.eprj	Cypress CY7C63723 [SOIC18]
<input checked="" type="checkbox"/> Site #3	534-00003	C:\mx28f640-empty-short.eprj	Macronix MX28F640C3T [T5OP48]
<input checked="" type="checkbox"/> Site #4	534-00004	C:\Prj\Winbond.eprj	Winbond W78LE516 [QFP44]

Use Site #1 project for all Sites

Timer refresh rate: 200ms Defaults

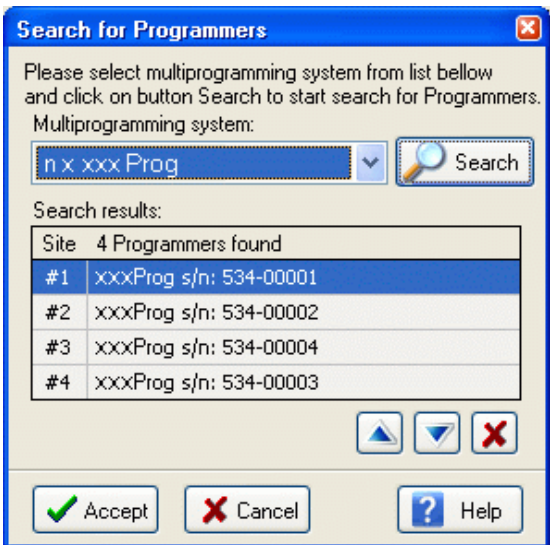
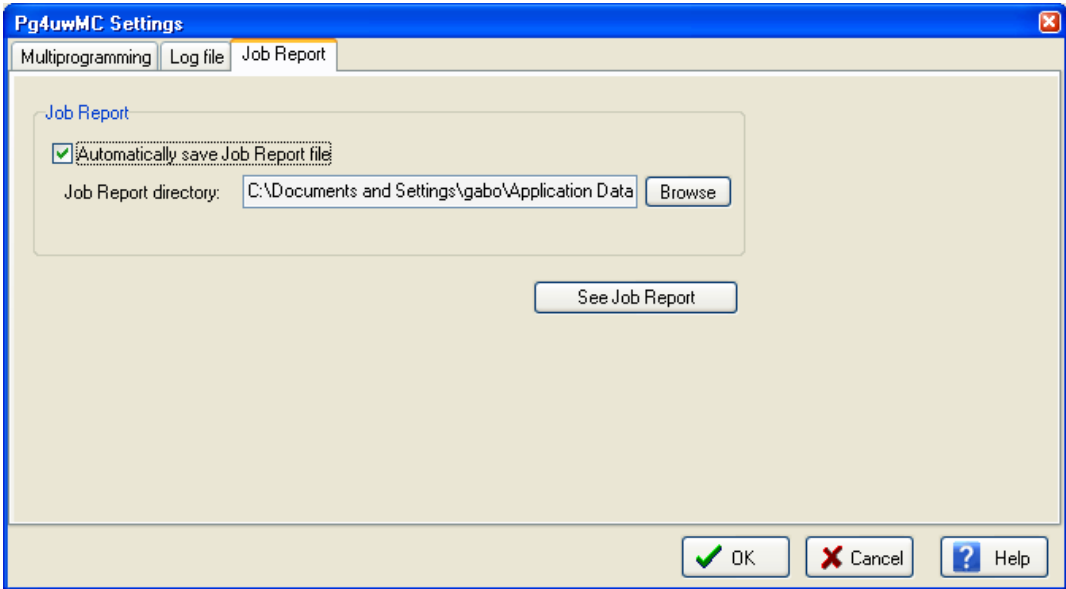
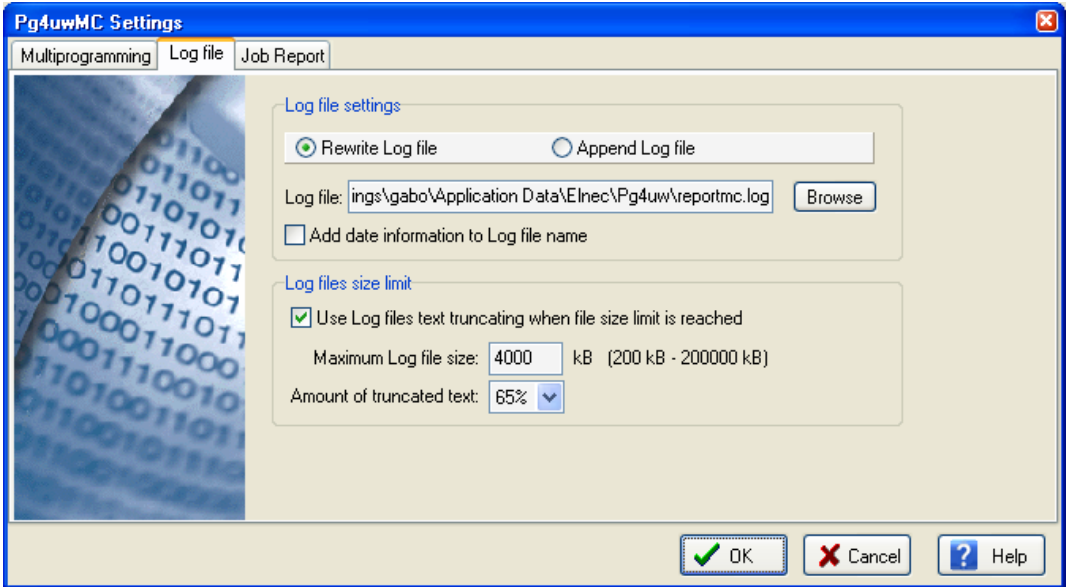
Automatic YES!

Use Project settings

Always on

Never on

OK Cancel Help



Automatic YES![自動 YES]

Pg4uwMC v2.64c/11.2009 - Multiprogramming Control Panel

File Device Programmer Options Help

Search Settings Load prj Erase Help

Multiprogramming system: Demo mode

Site #1 Site #2 Site #3 Site #4 Site #5

ACTIVE BUSY GOOD ERROR YES!

Status window Automatic YES! mode is on

Site	Status	Serialization
#1	—	
#2	—	

Log window

L0005: Welcome to Elnec Pg4uwMC Multiprogramming Control Panel
L0006: Version 2.64c/11.2009.
L0007: Today is 11.12.2009, 02:11:44.
L0008:
L0009: Processor: AMD (15/11/2) Frequency: 2700MHz

Pg4uwMC Settings

Multiprogramming Log file Job Report Sounds

Multiprogramming system: Demo mode

Sites	Serial number	Project file	Device in project file
<input checked="" type="checkbox"/> Site #1			...
<input checked="" type="checkbox"/> Site #2			...
<input checked="" type="checkbox"/> Site #3			...
<input checked="" type="checkbox"/> Site #4			...
<input type="checkbox"/> Site #5			...
<input type="checkbox"/> Site #6			...
<input type="checkbox"/> Site #7			...
<input type="checkbox"/> Site #8			...

Use Site #1 project for all Sites

Timer refresh rate: 200ms Defaults

Automatic YES!
 Use Project settings
 Always on
 Never on

OK Cancel Help

Automatic YES!

- Use Project settings - Pg4uware S/W で Automatic YES!が指定されているプロジェクト・ファイルを使用する場合
- Always on - 常にオンに設定
- Never on - オンにしないように設定

必要 PC システム

最低必要 PC システム:

- Microsoft Windows® 95 / NT / 98 or later (*1)
- PC Pentium III 500
- 64 MB RAM
- 空容量 60 MB (*2)
- LPT プリンター・ポート(LPT ポートが必要なプログラマ) (*3)
- USB ポート 1.1 又は、それ以上(USB ポートが利用可能なプログラマ)

推奨 PC システム(マルチ・プログラミング):

- Microsoft Windows® XP
- PC インテル Core 2 Duo (*4)
- 1 GB RAM
- 空容量 150 MB (*2)
- USB ポート 2.0 ハイ・スピード(USB ポートが利用可能なプログラマ) (*5)
- Pg4uwMC でのマルチ・プログラミングには TCP/IP によるネットワーク・アダプターがサポートされている必要があります。

ノート:

(*1) USB 接続は Windows 95 と Windows NT OS ではサポートされていません。また、マイクロソフト・インターネット・エクスプローラ 5.5 以上が既にインストールされている必要があります。

(*2) 必要な空容量は IC デバイスの容量(サイズ)にも依存します。大きなデバイス(メモリ・サイズ 32MB 以上)では 60MB+デバイス容量の空容量が必要です。

(*3) LPT ポートを使用しなければいけないプログラマでは LPT2 等の追加のプリンター・ポートのためにマルチ I/O カードを補助に使用して下さい。LPT ポートをシェアすることは避けて下さい。

(*4) 2-4 プログラマ・サイトでは Intel Core 2 Duo E6300 で十分ですが、4 つ以上のプログラマー・サイトでは Core 2 Duo E6600 (又は、それ以上)を推奨します。

(*5) マルチプログラミングを目的とした USB プログラマーの接続は PC の USB ポートに直接接続して下さい。そして、USB ポートはコンピュータの裏側にあるものをお選び下さい。もし、不完全な USB ポートしか利用出来ない場合は、USB2.0 ハイ・スピード転送をサポートし電源供給された USB ハブを推奨します。SMC 2504 チップセットを持った USB ハブを推奨します。

マルチ・プログラミングのためのネットワーク・アダプター

Pg4uwMCでのマルチ・プログラミングにはTCPプロトコルがインストールされたネットワーク・アダプターが必要です。ネットワーク・アダプターは仮想(Microsoft Loopback Adapter)、又は、実際のネットワーク・アダプタ(正しいドライバーがインストールされたネットワーク・アダプター)が必要です。

もし、ネットワーク・アダプターがインストールされていない場合は、少なくともバーチャル Microsoft Loopback ネットワーク・アダプターをインストールして下さい。

仮想 Microsoft Loopback アダプタのインストール(下記は Windows XP の例です。):

1. スタートをクリック
2. コントロール・パネルを選択
3. コントロール・パネルで“クラシック表示に切り替える”をクリック(“カテゴリの表示に切り替える”にして下さい。)
4. “ハードウェアの追加”をクリック
5. “ハードウェアの追加ウィザード”の“次へ(N)>”ボタンをクリック
6. “最近コンピュータに接続されましたが、未だインストールされていないハードウェアを検索しています”と表示され、“ハードウェアは接続されていますか?”のダイアログが現れますので、“はい、ハードウェアを接続しています(Y)”をクリックし、“次へ(N)>”ボタンをクリック
7. “新しいハードウェアデバイスの追加”をクリックして、“次へ(N)>”ボタンをクリック
8. “ウィザードで、ほかのハードウェアをインストールできます。”が現れますので、“一覧から選択したハードウェアをインストールする”をクリックし、“次へ(N)>”ボタンをクリックして下さい。
9. “次の一覧からインストールするハードウェアの種類を選択してください。”のリストから“ネットワークアダプタ”をクリックして、“次へ(N)>”ボタンをクリックして下さい。
10. 左パネル“製造元”で“Microsoft”を選択
11. 右パネルから“Microsoft Loopback Adapter”を選択し、“次へ(N)>”ボタンをクリックして下さい。
12. “ハードウェアをインストールする準備ができました。”の画面で“次へ(N)>”ボタンをクリックして下さい。
13. これでアダプターはインストールされました。